



令和7年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
祝第50号
発行日 R8. 2. 10

交通事故0のために 保護者の皆様にもご協力を！

「その手で合図！止まってくれてありがとう」



ご存じのように、保護者の皆様には、毎朝、学校前の神社(九頭竜大権現)のところのトンネル(谷和原 35)付近で、校長とともにボランティアで交通安全指導を担当していただき、大変感謝しております。おかげさまで開校以来、事故もなく、児童が登校できています。本当にありがとうございます。

【心配な状況】児童生徒の横断の仕方・急いでいる自動車・ボランティアの不足

しかしながら、心配な状況も見られます。特に、トンネルを通過して渡る横断歩道では、保護者の方が交通安全指導をしてきているので安心して、**左右の確認をせず、話をしながら渡る児童生徒**がよく見られます。また、保護者の方がその場にいる時、児童生徒は**横断歩道手前で立っているだけ**なので、通勤や送迎で急いでいる自動車は横断歩道前で停止せずに通り過ぎることもあります。(この状況でヒヤリハットあり)

さらに、すいハビの募集で交通安全指導をしていただいているボランティアの保護者は**わずか4名**。何とか1名は毎朝指導されていますが、**持続可能な状況ではなく**、今後、**交通安全指導の方がいない状況が危惧**されます。そうすると、本校の保護者等の車と本校の児童による事故が大変心配です。

【安全な登下校のために】

そこで、最近、保護者の方は横断歩道を渡った地点に立ち、渡ろうとしている児童生徒に、**手を挙げて(ハンドサイン)、「私は渡ります」という意思表示をするよう声掛け**を始めました。もし、保護者の方がいなくても、自分の身は自分で守るという「**自らの安全を守るための交通行動**」を実践することが重要になります。もちろん、**保護者ボランティアも募集しています**。

※茨城県警察も同様の取組を行っています(以下参照)。



茨城県警察では横断歩行者に横断時の手などによる合図と、会釈などによる感謝の意思表示の実践を呼びかけるため「**その手で合図！止まってくれてありがとう大作戦**」を展開中です。

横断時に合図をすれば、ドライバーは歩行者に気づきやすくなります。また、会釈などで感謝を示せば、ドライバーの優しい気持ちが生まれ、横断歩行者保護意識の向上につながります。

茨城県の安全な道路横断を創るために、年齢性別を問わずに合図と感謝の意思表示を実践しましょう。

(茨城県警察 https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a02_traffic/jikoboushi/odanhodo.html)

保護者の皆様には、交通安全指導のボランティアへのご協力と、お子さんを送迎される保護者の皆様は「**横断歩道を横断中の歩行者や横断しようとする歩行者がいる場合に一時停止する**」などの交通ルールを守ることの徹底をお願いします。

みなみトピックス

これまでの話題から

いらっしゃい1年生！「楽しんでください」

2年生活科「おもちゃまつり」

1月13日(火)午前、2年生が「おもちゃまつり」を開催し、1年生を招待して交流学習をしました。生活科の学習として、おもちゃを制作するのはもちろん、お客さん(1年生)に楽しんでもらうにはどうすればいいかを考え、看板や説明の掲示物など、各グループで考えて準備しました。「めいろ、ピョンコップ、ヨットカー、パッチンジャンプ、ころころころん、とことこ車」の各ブースで緊張気味にお客さんを待つ2年生。遊んで喜んでくれた1年生を見てニコリ。「楽しんでもらった」「1年生と一緒にできてよかった」「役に立った」という感想をもち、達成感も味わえたことと思います。立派な2年生でした。

